

月曜日のマナ

2021.9.13

喜びを感じていますか？

あなたは何をしているときに大きな喜びを感じるでしょう。仕事や、またはあなたがよく行う何かがあなたに喜びをもたらしていると感じるでしょうか？わたし自身の個人的な経験をお伝えすると、神が与えた能力や賜物を用いて神が望まれていることを行い、神の御心の中にいるとわかっているときほどに爽快な気分であることはありません。

初めて「炎のランナー」という映画を見たときのことを、わたしはずっと忘れないと思います。この映画は、わたしの大好きなスポーツ映画のひとつで、実在した2人の人生を記録しています。ハロルド・エイブラハムスはケンブリッジ出身のユダヤ系イギリス人で、1924年当時、世界最速のスプリンターでした。一方、エリック・リデルはスコットランド人で、敬虔なキリスト教徒であり、1924年にフランスのパリで開催されたオリンピックでは、エイブラハムスの最大のライバルとされていました。

エイブラハムスは成功を目指していましたが、リデルは、すべての行動を通して主に仕え、主を敬うことを彼自身の動機としていました。自身が中国の海外宣教に召されていることを十分に認識していたリデルは、神様がリデル自身にオリンピックにも出場して欲しいと願っているとも強く感じていました。それから数年後、中国で亡くなったリデルの日記には次のような言葉が記されていました。「わたしは、神がわたしを神の目的のために創ってくださっただけでなく、速く走る者としても創ってくださったと思っている。走るときに、わたしは神の喜びを感じるのだ」。この言葉は、炎のランナーでリデル役を演じた俳優によって語られた、忘れられない言葉です。

同僚と一緒にこの映画を見たとき、わたしはまだイエス・キリストを信じていませんでしたが、リデルの話には大きな感銘を受けました。それから3年後に信仰を持つようになりましたが、この映画が、わたしが信仰を育むようになった

要因の一つだったのではないかと思います。わたし自身もアスリートとして、この2人の男性の競争に共感を覚えました。この映画を見た直後から、実はジョギングも趣味にしはじめました。この映画を見て、少なくとも、走るときに神の喜びを感じようと思ったのです。

近年では、キリストと共に歩むことを通してなることができた自分自身と、その行いにおいて、神の喜びを感じるができるようになりました。保険の仕事でお客様と接するときも、ゴルフをするときも、文章を書くときも、メンターの相手と会うときも、神様がわたしに与えてくださる仕事や機会を通して仕え求めるとき、神の喜びを感じます。日々の生活の中で、神の喜びを感じている人は他にもたくさんいると思います。今、わたしの人生は、キリストと聖霊様が中心となり、日々の生活を導いてくださっています。皆さんはいかがでしょう？共感できるでしょうか？あなたは主の喜びを感じますか？

イエス様の言葉と弟子たちとのやりとりを見てみましょう。ヨハネの福音書に記されている、大祭司であるイエス様の祈りの最後で、イエス様は天の父に次のように祈られています。「わたしは彼らにあなたの御名を知らせました。また、これからも知らせます。それは、あなたがわたしを愛してくださったその愛が彼らの中にあり、またわたしが彼らの中にいるためです。」(ヨハネ 17:26)。その愛と喜びは、私たちが日々の生活の中でキリストを信頼し従うことで、主の喜びとして表されることができるのです。

ピリピ書3章7—9節では、使徒パウロが次のように述べています。「しかし、私にとって得であったこのようなものをみな、私はキリストのゆえに、損と思うようになりました。それどころか、私の主であるキリスト・イエスを知っていることのすばらしさのゆえに、いっさいのことを損と思っています。私はキリストのためにすべてのものを捨てて、それらをちりあくたと思っています。それは、私には、キリストを得、また、キリストの中にある者と認められ、律法による自分の義ではなくて、キリストを信じる信仰による義、すなわち、信仰に基づいて、神が

ら与えられる義を持つことができる、という望みがあるからです。」パウロが試練や境遇の中でも、神の喜びを心から実感していたことは、彼の書簡からも読み取ることができます。

皆さんにお聞きします。あなたは、ご自身の人生において神の喜びを感じているのでしょうか？もし感じていなければ、感じたいと思いますか？この喜びは、ヘリくんだり、悔い改めてキリストの前に来る、救い主と主としてキリストを信頼するすべての人に与えられます

もっと深めるために：

1. あなたは「喜び」をどのように定義しますか？テレビや映画、雑誌やインターネットで目にする視点から考えると、「喜びを経験する」とは、一般的にどのようにどのようなことを指すと思いますか？

2. あなたの生活の中で、どのようなものが喜びをもたらしますか？一例を挙げてください。

3. 炎のランナーの映画をご存知かどうかは別として、この映画は、神に従うことを約束し、スポーツの能力を最大限に発揮する機会を追求する人の姿を描いています。映画の中で、エリック・リデルは「走るとき、わたしは神の喜びを感じる」と言っていますが、あなたはこの言葉に何か共感するところがあるでしょうか？ご自身の答えを述べてください。

4. 日常の仕事の多くは退屈で、平凡で、イライラすることさえあります。そのような状況下において、いかに「神の喜びを感じる」ことができると思いますか？

参考聖書箇所リストです。参照ください：マタイ 7:21-23、エペソ 1:5-10、2 テモテ 1:11-12、ヤコブ 1:25-27、1 ヨハネ

英語版 Monday's Mana は[こちら](#)

この発行は、はジム・ラングレー氏によって書かれました。月曜日のマナ®は CBMC が毎週発行しているメールマガジンです。CBMC は、1930 年に創立され、世界中で、各業界で働く従業員や経営者に対してイエス・キリストを宣べ伝える事を目的としています。

©2021 年-この発行の全ての権利はブラジル CBMC・日本 CBMC にあります。